

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

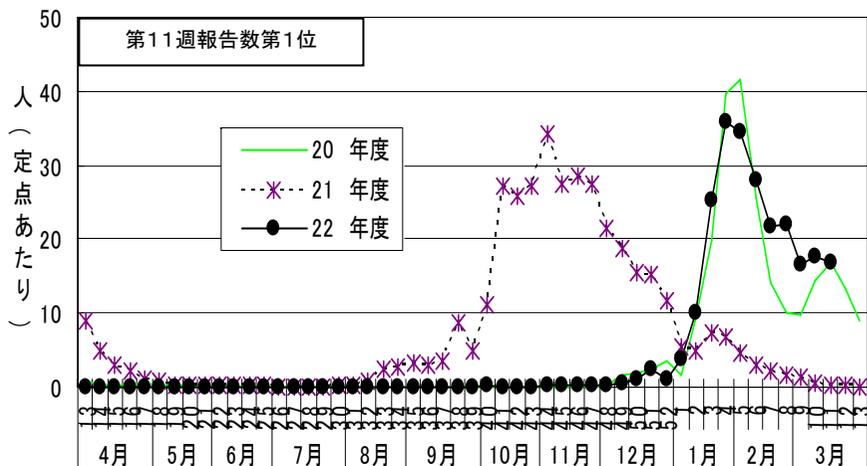


KAWASAKI CITY

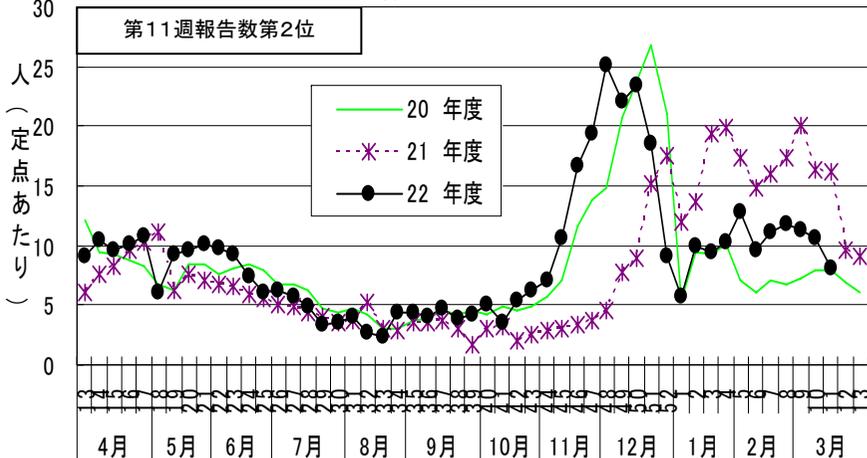
平成23年3月14日（月）～3月20日（日）〔第11週〕の感染症発生状況

第11週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点あたり16.91人と前週（17.65）より患者報告数はわずかに減少していますが、報告数は横ばい状態が続いております。
 また、第11週においても、市内延べ11施設（すべて小学校）からインフルエンザによる学級閉鎖等の報告がありました。これら延べ閉鎖施設数及びインフルエンザ患者数については前週の報告数を上回っておりますので、しばらくはインフルエンザ予防対策がまだ必要です。
 感染性胃腸炎は定点あたり8.09人と前週（10.70）より患者報告数はやや減少しております。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



春から夏にかけて気をつけたい感染症！！

例年、春から夏に患者報告数が増加する感染症として「麻しん（はしか）」が有名ですが、その他にも「咽頭結膜熱（プール熱）」や「手足口病」・「ヘルパンギーナ」等があります。
 これから新年度を迎えるにあたり、人が多く集まる場所等に行く機会が増えると思いますので、事前の予防接種や手洗い・うがい等を徹底し、これらの感染症に注意しましょう。



麻しん

* 症状 初期症状は発熱、咳、くしゃみなどで風邪と似ており、その後発疹などの特徴的な症状があらわれますので、麻しんと気づかないまま周囲に感染させてしまう可能性があります。

週

* 気をつけたいこと 麻しんは非常に感染力が強く、免疫がない人がウイルスを取り込んでしまうと90%以上の人が感染します。麻しんの最も効果的な予防対策は予防接種です。4月からの入園・入学に備えて、麻しんを含め、その他必要な予防接種をすませましょう。

※なお、神奈川県では3月8日（火）から31日（木）までを「麻しん・風しん（第3期・第4期）予防接種強化期間」です。強化期間中は、土日・祝日にも接種が受けられる医療機関がありますので、まだワクチンの接種を受けていない方は、この機会に必ず接種を受けましょう。

咽頭結膜熱

* 症状

- ① 高熱（39℃前後の発熱が続きます）
- ② 咽頭炎（のどが痛くなり、赤く腫れます）
- ③ 結膜炎（眼が赤くなり、目やにが出ます）

* 気をつけたいこと

- ・症状が回復した後あるいは無症候性感染者からもウイルスが排泄されるおそれがありますので注意が必要です。
- ・予防は流行時にうがい、手洗いをしましょう。
- ・また、プールからの感染を防ぐため、プールにはいる前後には必ずシャワーを浴びる、他人とタオルを共用しないなどを心がけましょう。

週

手足口病・ヘルパンギーナ

* 症状

- （手足口病）口（口腔粘膜）、手、足などに現れる水疱性の発疹が主症状。
- （ヘルパンギーナ）38～40℃の発熱（1～3日）と咽頭痛、のどの入り口付近の水疱が主症状。

* 気をつけたいこと

- ・ウイルスに汚染された手指からの感染を防ぐために、手を洗いましょう。
- ・特に排泄物の取扱いには注意しましょう。
- ・口の中の水疱が痛くて飲食できないときには、脱水症状に注意して水分補給を心がけましょう。